

# 一乗谷山 光教寺だより <浄土真宗本願寺派(西本願寺) 宗祖 親鸞聖人>

https://koukyoji.com

〒910-2155 福井市浄教寺町3-98 ☎ 0776-43-2224

住職 寺岡弘文 (☎ 080-5020-5093; e-mail: hirobumi.teraoka@gmail.com)

## <仏教の特徴>①

「老」「病」「死」という人生の根本問題にどう対処するのか、どう乗り越えていくのかは、お釈迦様の歩かれた道を辿り、説かれた教えを学ぶことに外ありません。死んでしまったら、死んだと自覚する私はいなくなるので、人間に死は存在しないとも言えます。しかし、自分が亡くなることの自覚、生きることの意味と死することの意味を自覚することは重要です。現在、「老」と「病」の問題は、我々一人ひとりに鋭く突きつけられています。医学や介護の進歩によって、現代社会は「延命」だけをただひたすら追及してきました。その反省もあってか、健康寿命が提唱され、TVコマーシャルでも健康食品や若返り商品が喧伝されています。「生」ある限り、「死」は必ずやってきます。その過程に当たり前のこととして「老」や「病」が伴います。真に残念至極ですが、コロナ禍で自死者が激増しています。孤独にならず、身内を含め可能な限り多くの方々と接しましょう。



## <光教寺ご本尊>

阿弥陀如来立像

(朝倉氏遺跡資料館撮影)

“南無阿弥陀仏”

阿弥陀様のお計らいにお任せします、  
帰依しますの意味。

## <2021年行事>

1月 1日 0:00～ 元旦会  
6月20日(日) 永代経法要(中止)  
11月 3日(祝) 報恩講  
12月31日 23:30～ 除夜会

## <住職のつぶやき>その5

家康・秀忠・家光の徳川三代に仕えた黒衣の宰相天海は、実は生き延びた明智光秀であったという俗説があります。比叡山松禪院の石灯籠には「慶長二十年二月十七日奉寄進願主光秀」の銘があり、その年の五月の大坂夏の陣で豊臣家は滅亡しています。また、天海大僧正慈眼大師の墓(慈眼堂)は、光秀ゆかりの坂本の恵日寺にあります。天海と家康は初対面の際に、まるで旧知の間柄のように二人だけで話し込んだとも伝わっています。天海は1643年108歳で亡くなっているので、生年は1535年となります。他方、光秀の享年には67歳と55歳の二説があって、本能寺の変の天正10年(1582年)を没年とすると、生年は1515年か1527年となります。どちらも天海の生年とはかけ離れていますので、何か信頼のおける新しい資料が出現しない限り、「天海光秀説」は俗説のままです。

## <お釈迦様と七高僧>⑤

真宗七高僧の第四祖、道綽(どうしゃく)禅師(562-645年)は、人には例外なく仏性(ぶっしょう)が備わっていると説く「涅槃経」の自力の教えを究められたが、後年、第三祖曇鸞の碑文を読まれてから浄土教に帰依された。禅師のお生れになった頃は、釈迦入滅後、正法500年と像法500年の計千年が経った、正に末法一万年が始まったとする頃になります。仏法が衰微の一途を辿るこの末法の世では、聖道門による自力の教えでは悟りは得られず、他力の念仏によって浄土に往生するという浄土門の教えが、私たちの通るべき道であることを明らかにされた(『安楽集』2巻)。親鸞聖人は『正信偈』の中で、「道綽、聖道の証し難きことを決して、ただ浄土の通入すべきことを明かす」と述べられている。

## <コロナ禍の世界>その5

五輪が命綱で金満体質のIOCは勿論、日本政府も五輪開催に突き進んでいます。選手間の接触がほとんどないゴルフ界やテニス界でもこれまでに感染者が出ています。6月初旬開催の米国ゴルフツアーでは、3日目まで断トツだったスペインのプロゴルファーは、PCR陽性と判り最終日の棄権を余儀なくされました。五輪で感染者が出た場合、どういふ対応をとるのでしょうか、競技ごとに決まっているのでしょうか？世界中の様々な国々から10万人近くの選手や関係者が集う今夏の五輪、日本の甘い水際作戦や対応では、結果は凶と出る可能性の方が高いと思われます。日本や世界にコロナ禍が再度蔓延した場合、その責任は一体誰が取るのでしょうか。国民の半数近くにワクチンが行き渡り一時沈静化していた英国でもインド型変異株蔓延の兆しが見られ、ロックアウト解除は見送られています。各競技ごとに開催されている「世界選手権」がどの国でも最高の盛り上がりを見せる昨今、もう五輪の役目は終わったのではないのでしょうか。

## <住職の詠んだ短歌>

「新緑の芽吹きの際に比ぶれば 上手くなったなあ「ホーホー、ホケキョ」

「早苗田に吾(あ)が足音に驚きて 泳ぎ惑い(オタマジャクシは)」

<禁転載>